



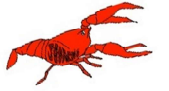
“人間の進化は、
テクノロジーやグローバル化に
追いついていない”

(人類学者 山極寿一)

→人の自然な育ちとは？

(子どもは何が不自然か気づかない、大人が意識)

チンパンジーとの遺伝子差：1.6%



サルの特徴

- ・つかむ手（移動）
- ・ならぶ両目（遠近感）
- ・色覚（果実見分け）

⇒ 樹上を制覇（鳥から奪う）

声を出せるヒトと鳥（喉の形）



ヒトの歴史



- **700万年前：チンパンジーと分岐** (遺伝子差1.6%)
 - 400万年前：二足歩行（狩猟採集／道具）
 - 10万年前：現生人類とほぼ同遺伝子（人口：数百万？）
- **5万年前：クロマニヨン大躍進** (遺伝子差0.01-0.1%?)
（言葉・洗練した道具・交易・芸術／ネアンデルタール人滅亡）
- **1万年前：農耕開始**（5千年前に文字）⇒階層化
 - 1800年前：邪馬台国・卑弥呼
 - 150年前：明治維新
 - 75年前：終戦（民主主義・米流教育…）
- **13年前：初代 i phone発売**（現在の人口77億人）



育児の特徴

共同保育

- ・ 夫の育児参加 & 村で育てる
(多産・未熟期間・置いて育てる)

⇒ 社会性

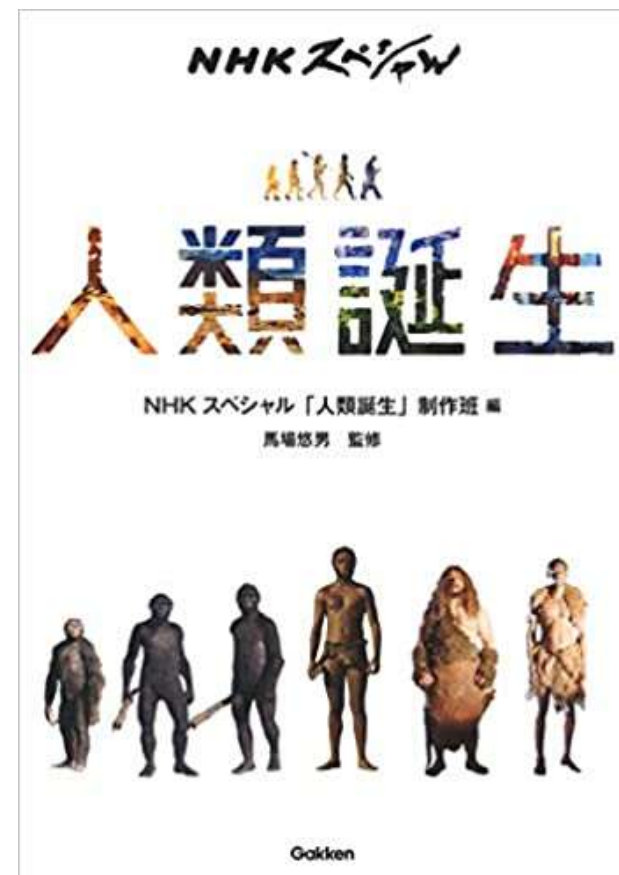
- ・ 相反する「家族」と「共同体」の両立
 - ◎ 協働・他者への配慮 ⇒ 進歩
 - × 残存する「よそ者嫌い」 ⇒ 戦争・抑圧





「サル化」する
人間社会 山極寿一

集英社インターナショナル



環境急変（700万年の最近50年間で…）



- ・ 地域共同体の弱化
- ・ 自然の減少
- ・ 管理社会・序列化
- ・ IT化・SNS
- ・ グローバル化

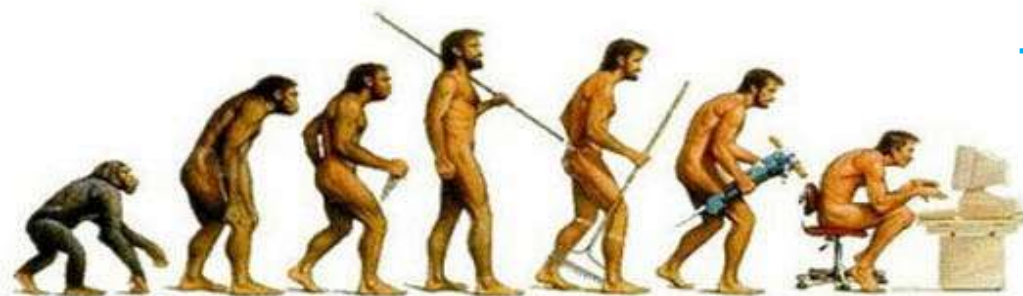
・ 人間の進化は、社会の大きな変化に追いついていない。

・ 人間性を確保するには、自然との付き合い、身体性を伴うコミュニケーションが大切

モットー：

人と自然にふれあう

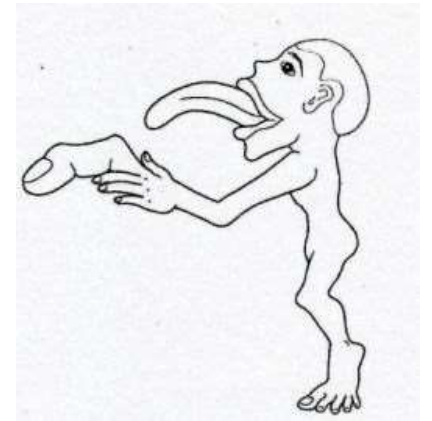
（人間らしさを大切に）



人間らしさ



- ・ 白目・犬歯小・男女体格僅差
- ・ 二足歩行・体毛少（長距離走が可能）
- ・ ともに食べる（運搬、肉食、調理、農耕）
- ・ 共同体の中で育つ
- ・ 脳が大きい（言葉、手が器用→道具）
- ・ 好奇心が強い（移動、火、雑食）
- ・ 多産、子ども時代が長い
- ・ 社会性（共同保育）



子どもにできること…環境整備



- ・ 自然：ふれあう機会
- ・ 人：Comfort Zone（第三の大人、友達）
- ・ 時間：好きなこと・友達・ぼーっとする

自分と子にできること…ご機嫌でいること

- ・ 3 S：睡眠・食事・しゃべる（人間らしさ基本）

